

池袋演芸場にて落語などの演芸観覧 (2025/7/29)

史跡巡り同好会 C 班 石谷

連日 30℃を超える真夏日が続くなか、この暑さを吹き飛ばすべく、落語をはじめとする演芸の観覧を企画しました。

西武線池袋駅東口に 11:40 集合。参加者は 15 名。風が通らず蒸し暑い。まずは昼食のためガスト池袋西口店へ向かうのですが、日当たりを避けるために地下西通路を抜けるコースを採用。徒歩約 10 分でガストに到着。演芸場の開場は 13:30、開演は 14:00 のため、13:15 に出発予定としてゆったりランチを楽しみました。ランチを早めに終えた仲間は近隣を散策して演芸場へ直行。残るメンバーは裏通りを進み、ガールズバーの手書き案内を掲げた呼び込みの女性を横目を通り過ぎ、予定通り 5 分ほどで池袋演芸場に到着。

演芸場入口の切符売り場で入場券（シルバー割引 2,500 円：証明書提示、一般 2,800 円）を購入、その右手から建物に入り地下階へ。係員に券を見せて入場します。92 席の椅子席（6 列；自由席）とこじんまりした劇場です。出演者の表情が客席からとてもよく分かり、肉声がよく聞こえることが魅力になっています。

（参考比較：上野の鈴木演芸場は 285 席、新宿の末廣亭は 1 階椅子席 117 席&左右に各栈敷席 38 席。満席時は 2 階席が開放され、栈敷・椅子席ともに使用可能。）

また、池袋演芸場は、演者 1 人当たりの持ち時間が他の寄席に比べてやや長めに設定されており、演者にとって新作や他の寄席では挑戦しづらい演目にも挑戦できる実験場としての魅力もあるそうです。



池袋演芸場

本日の演目を末尾に添付します。この日の観客は 30～40 名ほどで、やや空席が目立ちました。平日の昼間で勤労者が少ないのは当然ですが、私たち 15 名がいなければより寂しい雰囲気だったかもしれません。ある演者は「数名しか客がいなかった過去」について自虐ネタ風に語り、別の演者は、

「今日も熱中症警戒アラートが出ていましたね。『不要不急の外出はお控えください』と。特に高齢者の皆さん、出歩きませんか？ それでも来られた皆さん、落語がよほど好きなのですね。こんな地下にまで。」と感謝と笑いを織り交ぜた語りかけが印象的でした。

演芸では演者が観客の年齢・性別・服装・笑いの反応を観察しながら演じるとよく言われますが、まさにそれが体感できました。落語においては、前座、二つ目、真打と階級が上がるにつれて観客との一体感が高まり、芸の深みと観客との距離の近さがより際立っていました。

終演は 17:00。

連日の暑さのなか、演者の繊細な仕草や呼吸、確かな肉声が響く生の演芸を涼しく楽しめたことで、笑いと感動が交錯する緊張のほぐれた非日常のひとときを体験できました。

2025/7/29

池袋演芸劇場番組

令和七年
7月21日～30日まで

◆御入場料金 (一般) 二、八〇〇円 (学生・65歳以上) (証明書提示) 二、五〇〇円
(小人) 一、八〇〇円
※夜の部は一日ごとに料金が異なります。
※十日間昼夜入替えとなります。

◎昼の部		◎夜の部	
落語	林家 ぼん平	落語	林家 ぼん平
落語	林家 木久彦	落語	林家 木久彦
落語	林家 ばな平	落語	林家 ばな平
落語	林家 希林	落語	林家 希林
漫才	古亭 駒治	漫才	古亭 駒治
漫才	青空 千蔵	漫才	青空 千蔵
漫才	浮世亭 どん蔵	漫才	浮世亭 どん蔵
漫才	横山 孝幸	漫才	横山 孝幸
漫才	青空 一風・千風	漫才	青空 一風・千風
漫才	林家 山里ん	漫才	林家 山里ん
漫才	お仲間入り	漫才	お仲間入り
漫才	林家 まめ平	漫才	林家 まめ平
漫才	林家 たい蔵	漫才	林家 たい蔵
漫才	春風亭 正朝	漫才	春風亭 正朝
漫才	立花家 橋之助	漫才	立花家 橋之助
漫才	林家 ばな平	漫才	林家 ばな平

◎夜の部

「落語協会特選会」

○二十一日 林家 ぼん平 × どくどくスイッチ企画

○二十二日 桃色婦人会

○二十三日 ばりゆき三人会

○二十四日 菊之丞・柳朝二人会

○二十五日 桂文雀独演会

○二十六日 柳家三語橋の落語放浪記

○二十七日 山里ん落語ハンタ付け

○二十八日 金原亭世之介の会

○二十九日 ニッ目勉強会

○三十日 柳家山バの会

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））
独立行政法人日本芸術文化振興会

ご案内専用電話 (3971) 4545

<http://www.ike-en.com>



